

クループ症候群

クループ症候群について

のどの奥には声帯という声を出す器官があります。その周りを^{こうとう}喉頭といいます。

クループは、風邪のウイルスが喉頭に感染して腫れるので、

声がかすれたり、犬が吠えるような咳が出ます。

また腫れることで気道が狭くなるので、

息を吸うときに**ヒューッと音**がしたり、**息が吸いにくく**なったりします。

「オットセイの鳴くような咳」などということもありますが、

「いつもの風邪とは違う咳」とか「のどがすごく痛そうな感じの咳」

とおっしゃる保護者の方もいます。



治療法は？

病院では喉頭の腫れを取る薬を霧状にして吸入します。

これでよくなることも多いですが

吸入後いったんよかった後、症状が再び悪くなることがあります。

そのため**よくなっても注意して様子を見る**ことが大事です。

吸入に加えてステロイドの内服薬を

処方して治療します。

咳の程度が強い場合は

入院で点滴治療を行います。





すぐに受診

Point

呼吸が苦しい・顔色が悪い

- ☐ 特有の咳が収まらない
- ☐ 呼吸が苦しくて**顔色が悪い**
- ☐ **肩で呼吸**する（肩呼吸）
- ☐ **鼻の穴**がぴくぴくする（鼻翼呼吸）
- ☐ 呼吸の際に鎖骨の上や肋骨の下が**くぼんでいる**（陥没呼吸）
- ☐ 咳き込んで**吐き、水分がとれない**
- ☐ 咳き込んで**眠れない**

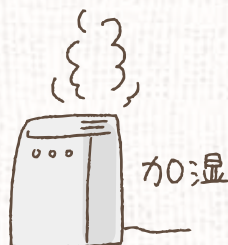


家庭での
ケア

Point

加湿・水分補給

- 家では加湿器などでお部屋を加湿し、水分をこまめにとってください。
- 泣くと症状が強くなるため、頻回に鼻水を吸うのは控えるなど、できるだけ泣かせないように心がけてください。
- 受診後も特有の咳が収まらなかったり、上の症状が続く場合には再度受診してください。



潜伏期間 2～14 日 改善まで 3～7 日